

熱中症対策に関する検討会 とりまとめのための論点(案)

【 】 医学情報を含めた即時的な患者発生情報が有用ではないか。

- 今年度から、厚生労働科学研究費補助金による研究班において「**重症度別患者発生数の即時認識システム**」が試行的に実施されている。
- その情報について、限界等を明示したうえで今夏から厚生労働省において**公表**してはどうか。(別紙参照)

【 】 熱中症予防対策の徹底のためには、情報の普及方策が重要ではないか。

- **地域住民に身近なソーシャルキャピタルの場**である生活衛生同業組合・医療機関・ボランティア団体等の協力を得て、高齢者等に注意喚起を行うこととしてはどうか。

ひと、ぐらし、みらいのために

厚生労働省
Ministry of Health, Labour and Welfare

ホーム お問合窓口 よくあるご質問 サイトマップ 点字ダウンロード サイト開設支援ツール English

文字サイズの変更

標準 大 特大

検索

ご意見募集やパブリックコメントはこちら

国民参加の場

テーマ別に探す

報道・広報

政策について

厚生労働省について

統計情報・白書

所管の法令等

申請・募集・情報公開

健康・医療

熱中症関連情報

厚生労働省の取組

健康・医療

健康・医療

健康

食品

医療

医療保険

医薬品・医療機器

子ども・子育て

福祉・介護

雇用・労働

政策について

分野別の政策一覧

健康・医療

健康

食品

医療

医療保険

医薬品・医療機器

子ども・子育て

福祉・介護

雇用・労働

熱中症関係省庁連絡会議

熱中症関係省庁連絡会議

熱中症の予防と応急対策に係る知識の普及、熱中症対策関連情報の周知、地域の実情に応じた対策を推進するため、関係省庁の緊密な連携を確保し、熱中症対策の効率的・効果的な実施方を検討し、情報交換を行うため、関係省庁で構成する熱中症関係省庁連絡会議を設置しています。

熱中症環境保健マニュアル、熱中症予防リーフレット・カード、暑さ指数(WBGT)予報ほか

施策紹介

熱中症関係省庁連絡会議

熱中症関係省庁連絡会議

熱中症の予防と応急対策に係る知識の普及、熱中症対策関連情報の周知、地域の実情に応じた対策を推進するため、関係省庁の緊密な連携を確保し、熱中症対策の効率的・効果的な実施方を検討し、情報交換を行うため、関係省庁で構成する熱中症関係省庁連絡会議を設置しています。

熱中症環境保健マニュアル、熱中症予防リーフレット・カード、暑さ指数(WBGT)予報ほか

ここに掲載します

厚生労働省の取組

地域の高齢者等に対する熱中症対策の事例について

地域の高齢者や障害者等の支援が必要な方に対する熱中症対策について、各自治体の取組事例を紹介しています。

7月17日0時～24時に報告された熱中症患者数

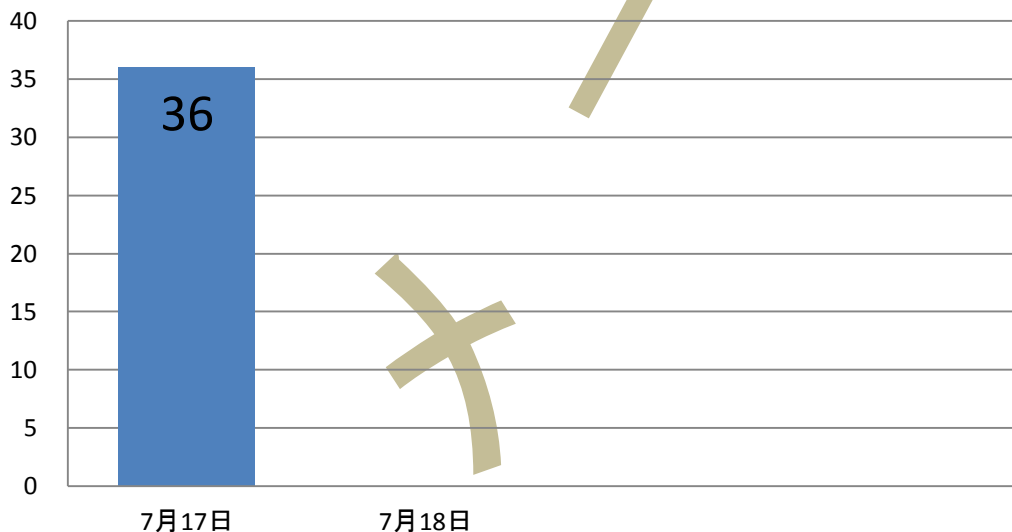
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会加盟の救急救命センター等からの報告について、平成24年度厚生労働科学研究費補助金「効果的な熱中症予防のための医学的情報等の収集・評価体制構築に関する研究」班の研究代表者である三宅康史氏(昭和大学医学部救急医学講座准教授)から厚生労働省に対し提供されたものです。

●熱中症の発生が危惧される梅雨明け後の平成24年7月20日～8月15日の間、前日(0時～24時)に報告された患者数等の即時情報を、報告翌日に公表します。(なお、土日曜日分は月曜に併せて公表)

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

●研究班では、この夏の即時情報と、10月以降の詳細情報との分析等を通じて、即時情報に基づく注意喚起の実施について研究を行うこととしています。

報告された熱中症患者数



都道府県 医療機関所在地別患者数

〇〇県	〇〇人
〇〇県	〇〇人
〇〇県	〇〇人
〇〇県	〇〇人

7月17日0時～24時に報告された熱中症患者数

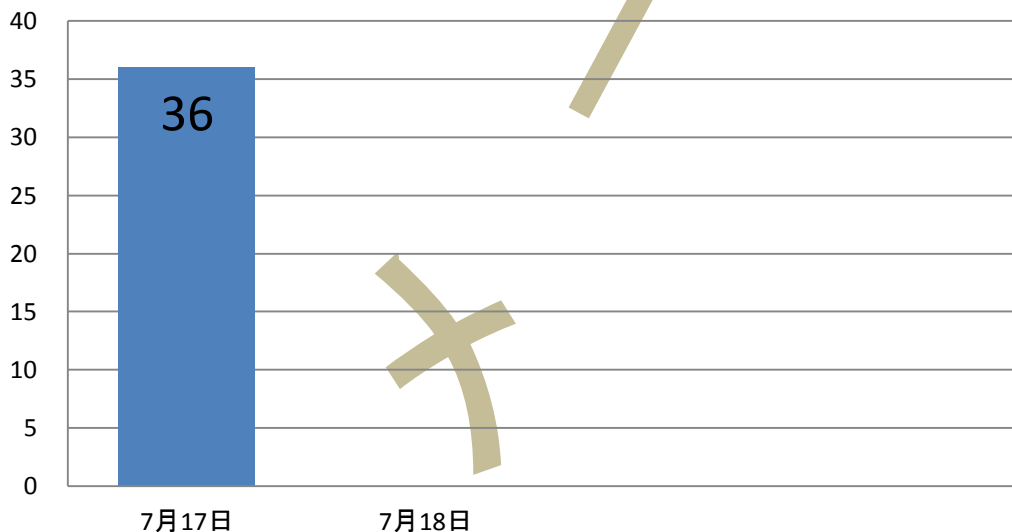
●ここに掲載している情報(即時情報という)は、日本救急医学会加盟の救急救命センター等からの報告について、平成24年度厚生労働科学研究費補助金「効果的な熱中症予防のための医学的情報等の収集・評価体制構築に関する研究」班の研究代表者である三宅康史氏(昭和大学医学部救急医学講座准教授)から厚生労働省に対し提供されたものです。

●熱中症の発生が危惧される梅雨明け後の平成24年7月20日～8月15日の間、前日(0時～24時)に報告された患者数等の即時情報を、報告翌日に公表します。(なお、土日曜日分は月曜に併せて公表)

●即時情報は、協力の得られた医療機関からの任意の報告に基づくため、日々の患者数の変化の程度、患者の年齢層の変化等の傾向の把握に使用し、他の関連情報と総合して対策を講じることが重要です。

●研究班では、この夏の即時情報と、10月以降の詳細情報との分析等を通じて、即時情報に基づく注意喚起の実施について研究を行うこととしています。

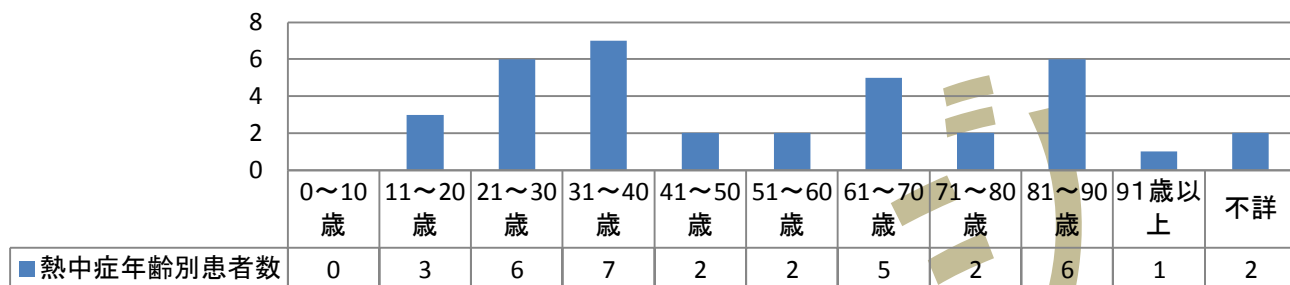
報告された熱中症患者数



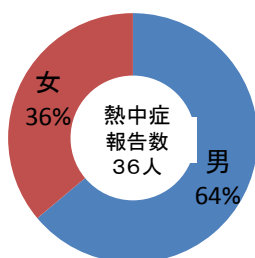
都道府県 医療機関所在地別患者数

〇〇県	〇〇人
〇〇県	〇〇人
〇〇県	〇〇人
〇〇県	〇〇人

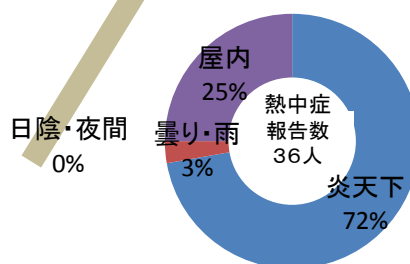
年齢別患者数



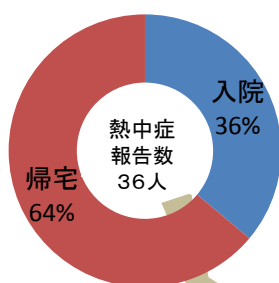
男女別(割合)



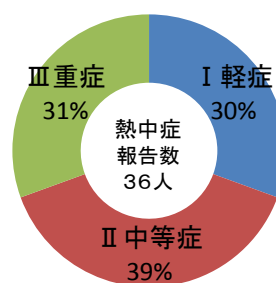
発生場所(割合)



入院／帰宅(割合)



重症度分類(割合)



* 重症度について：Ⅰ度は現場にて対応可能な病態、Ⅱ度は速やかに医療機関への受診が必要な病態、Ⅲ度は採血、医療者による判断により入院（場合により集中治療）が必要な病態を表しています。（日本救急医学会「熱中症に関する委員会」の推奨する分類より）

* 熱中症患者数の割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合があります。